



2025年1月10日

各 位

会社名 リンクメッド株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉井 幸恵

シリーズ B ファーストクローズのお知らせ

『革新的な「見える」がん治療』をいち早く社会にお届けするために放射性医薬品の開発を行っているリンクメッド株式会社（代表取締役社長：吉井 幸恵、本社：千葉県千葉市、以下「当社」）は、シリーズ B ファーストクローズとして 15 億円の第三者割当増資による資金調達を実施しましたのでお知らせいたします。今回の調達を含めた累計調達額は、約 26 億円となります。

シリーズ B ファーストクローズで参画した投資家は、新規株主としてリード VC である JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社、アクシル・キャピタル・パートナーズ 2 号 LLP に加え、既存株主である DBJ キャピタル株式会社、ペプチドリーム株式会社となります。

事業進捗

がんに対する放射線治療や化学療法では、治療効果が十分でない、正常細胞に対する副作用が大きいといった問題がある中で、こうした問題を克服する『放射性同位体 ^{64}Cu （銅-64）』を用いた放射性治療薬を開発してきました。 ^{64}Cu は、がん細胞の DNA を高いエネルギーで効果的に攻撃できるため、高い治療効果が得られ、がん特異的に結合する様々な分子に結合させることが可能で高い効果と副作用の低減が期待されます。さらに、陽電子を放出するため、陽電子放射断層撮影（PET）診断でがんへの薬剤集積を確認しながら治療できます。

そうした中で、当社の開発一号品である ^{64}Cu -ATSM（LM001）については、悪性脳腫瘍の中でも最も治療が難しい再発・難治性悪性神経膠腫の患者さんを対象にランダム化比較第 III 相医師主導試験（STEP-64 試験、試験番号 NCCH2301）が 2024 年 6 月から開始されています。

また、 ^{64}Cu を用いた放射性医薬品の国内における量産体制構築に向けて必要となるサイクロトロンや製剤設備の工場を現在千葉市内に建築しており、 ^{64}Cu を用いた創薬支援プラットフォームとして確立を目指しています。

資金使途

シリーズBの資金調達の主な目的は下記の通りです。

- ・研究開発費

現在実施しているLM001の第三相試験の着実な実施、他のパイプラインの臨床試験や研究開発の加速及び新規パイプラインの創出

- ・工場運営費用

工場の立ち上げ、⁶⁴Cuの製造体制の確立及び工場運営費用

- ・人材の採用・組織機能の強化

研究開発、工場運営、事業開発及び管理体制の拡充

リンクメッド株式会社 代表取締役社長 吉井 幸恵のコメント

「既存の株主の皆様に加え新たな投資家の皆様にご参加いただき、シリーズBファーストクローズで総額15億円の資金調達を実施いたしました。前回までのシリーズにより、⁶⁴Cu -ATSM (LM001) の第三相試験入りや⁶⁴Cuの製造工場の建設を開始いたしました。今回のシリーズBにより、現在実施しているLM001の第三相試験を加速させまた上市に向けて⁶⁴Cuの供給体制を確立することで、再発悪性神経膠腫の患者さんにいち早く薬を届けられるように対応していきます。さらに、これらを通じて⁶⁴Cuの放射性医薬品をグローバルの患者さんに届けるべく事業を邁進します。」

出資者からのコメント

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

ベンチャーキャピタリスト 林 隼氏

「リンクメッドが推進する『放射性同位体⁶⁴Cu（銅-64）』による革新的な医療と医薬品が、日本の健康長寿社会の実現に寄与すると考え、今回リードVCとして出資させていただきました。吉井CEOを中心とする高い意識と熱量を持つチーム・投資家・関係者の方々と一緒にできることを大変うれしく思います。

今回の出資を通じて、研究・事業を推進し更なる飛躍をされることを期待しております。」

DBJキャピタル株式会社 シニアインベストマネージャー 安田 順信氏

「治療と診断を同時に行うことが期待される放射性同位元素⁶⁴Cuを用いた創薬プラットフォームを有するリンクメッド社に、前回シリーズに続いて資本参画できることを大変嬉しく思います。1stパイプラインである⁶⁴Cu-ATSMは、膠芽腫を含む高悪性度の神経膠腫を標的とし、第1相臨床試験の結果から既存薬を超える全生存期間（OS）の改善が期待されたため、第3相試験が開始されています。これにより、世界初となる⁶⁴Cuを用いたがん治療薬の実現に向けた挑戦が進展していると高く評価できます。日本政策投資銀行（DBJ）グループでは、「イノベーションを支援し、日本経済の成長を促進」を主な取り組みテーマの一つに掲げており、シリーズAに続

く今回の投資を通じ、日本発の画期的な難治性がんの治療薬/診断薬を世界中の患者様に届けるリンクメッド社の取組を支援してまいります。」

ペプチドリーム株式会社 取締役副社長CFO 金城 聖文 氏

「リンクメッド社との間で共同開発・商業化を進めている⁶⁴Cu -ATSMプログラムの臨床試験及び製品上市を見据えた製造体制構築が順調に進捗し、大変喜ばしく思います。次世代核種を用いた放射性治療薬は、がん治療のあり方に変革をもたらし得るものと確信しております。アンメット・メディカルニーズに応えられる新薬をお届けできるよう、弊社グループともども着実に歩みを進めてまいります。」

以上

リンクメッドについて

リンクメッド株式会社は、「Link for Life－最先端科学と医療をつなぐー」というミッションを達成するために、『革新的な「見える」がん治療』をいち早く社会にお届けすることを目指し、放射性医薬品の開発を行っている研究開発型企業です。当社は量子科学技術研究開発機構（QST）における研究をもとに設立され、銅の放射性同位体である⁶⁴Cuを用いたがんの治療薬・診断薬を開発しています。詳細は当社ウェブサイトをご覧ください

(<https://www.linqmed.co.jp/>)。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

リンクメッド株式会社

linqmed@linqmed.co.jp